



個人情報をインターネット上に書いてしまうとどうなるの？

➤ トラブルや犯罪に巻き込まれる危険性が高まります！

個人情報とは、書き込まれた氏名や生年月日などから個人を特定できる情報のことをいいます。インターネット上にプロフィールを書く機会があると、つい自分の名前や通っている学校名、住んでいるところなどを書いてしまいたくなりますが、それはとても危ないことです。

次のような情報をインターネット上に書いてしまうと、情報を悪用しようとする人に自分が誰かを特定されてしまい、トラブルや犯罪に巻き込まれる危険性が高まります。

- ✓ 学校の情報（学校名、学年、クラス、出席番号、部活動など）
- ✓ 連絡が取れる情報（メールアドレス、LINEのID、QRコードなど）
- ✓ 場所を特定できる情報（自宅や学校の周りの写真など）

➤ こうやって書いたらわからないかな？

個人情報がわからないように書いたつもりでも、他の場所で書き込んでいた色々な情報を組み合わせることによって、個人を特定されてしまうこともあります。

「わからないように書けば大丈夫」ではなく、個人情報につながることは書かないように気を付けましょう。



「〇〇公園」ってことは△△市の公園だな。△△市に「N」がつく中学校は一つしかないから、この子はそこの生徒ってことか…



※事例は当資料のために作成したものです。

「個人情報を書かない、聞かれても教えない」というのはインターネットを使う上での基本です。写真から住所を特定されてしまうこともありますので、インターネットに書き込みをするときには、個人情報が含まれていないか注意しましょう。